

本商品は、バイクタワーやP-500など弊社ディスプレイスタンドの支柱（直径40mmもしくは45mm）に取り付けて、簡易的な整備スタンドとして使えるようにするアタッチメントです。U字型のフック部分にサドルを載せて車体を支えます。

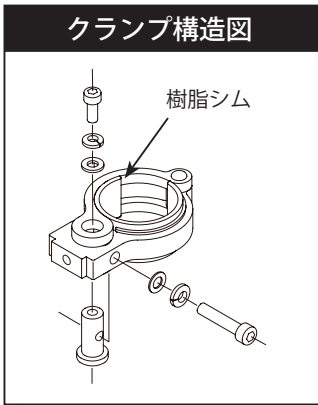
自転車は宙ぶらりんでは安定しませんので、前輪が床に着く高さにあタッチメントを取り付けて使用します。



品質保証期間：ご購入後1年間

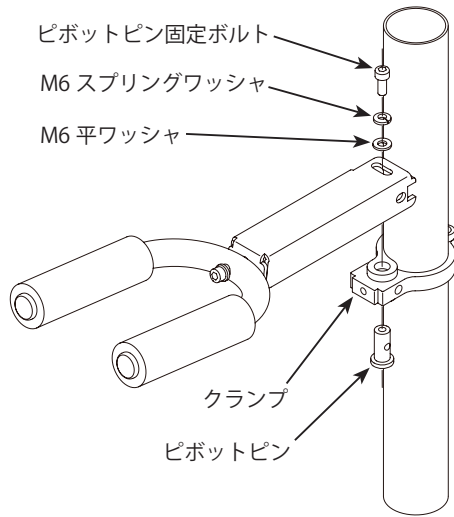
メーカー側の設計あるいは製造上の瑕疵のある不具合に対して、新品購入後1年間にわたって保証を受けられます。ただし消耗部品は除きます。詳しくは弊社ウェブサイトをご参照ください。

HMA-1 の取り付け方 必要な工具： 5mm 六角レンチ



! グレーの樹脂シムは支柱径が40mmの時にだけクランプの内側に挟んで使います。

! U字型フックは自転車に合わせて角度が変更できるようになっていますが、自由に回転するほど支持ボルトの締め込みが緩いと、予期せず自転車がフックから外れて脱落することがあります。



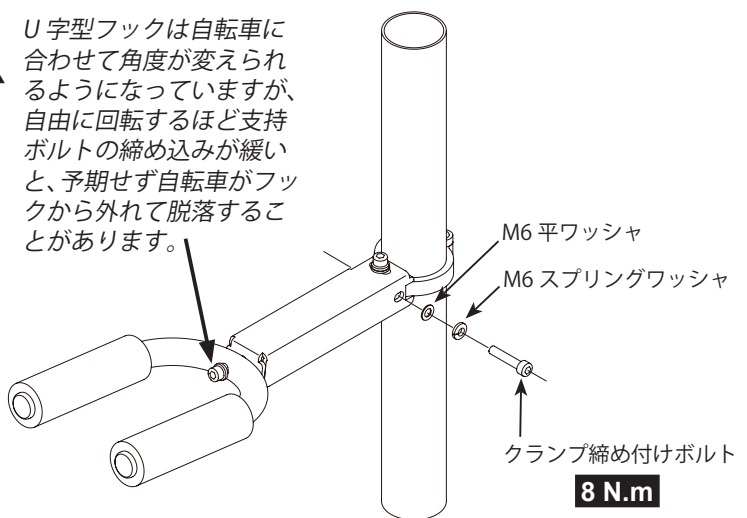
1 まずいったんクランプを分解し、クランプ側面にねじ込まれているボルトが向かって右側になるようにして、支柱に巻き付けます。もし支柱径が40mmの場合は、添付の樹脂シムをクランプの内側に挟んで巻き付けます。

2 クランプ本体の長孔と2本のアームの孔の3つがすべて重なり合うようにした状態で、ピボットピンを下側から挿入します。このときピボットピンの側面にあいているネジ孔が、クランプ本体の孔と合うように向きを揃えておいてください。

3 HMA-1をクランプの上にかぶせ、ワッシャを通したピボットピン固定ボルトを上からねじ込みます。まだ仮締めのみで構いません。

4 続いて、ワッシャを通したクランプ締め付けボルトをクランプの側面からピボットピンにねじ込みます。HMA-1の位置調整は、これらのボルトがまだ完全には締め込まれていないときにだけ可能です。

5 位置が決まったら、まずピボットピン固定ボルトをしっかりと締め、続いてクランプ締め付けボルトを8N.mのトルクで締め付けて完了です。



問い合わせ先

株式会社 箕浦
 〒503-2305 岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1
 Phone : (0584) 27-3131 Fax : (0584) 27-7505 Web : www.minoura.jp
 Mail : minoura@minoura.jp (営業) / infodesk@minoura.jp (カスタマーサービス)

Made in Japan